



2007年3月期 上半期 決算概要

2006年10月25日

NECエレクトロニクス株式会社

代表取締役社長 中島 俊雄

<http://www.necel.com/ir/ja/>

(注)

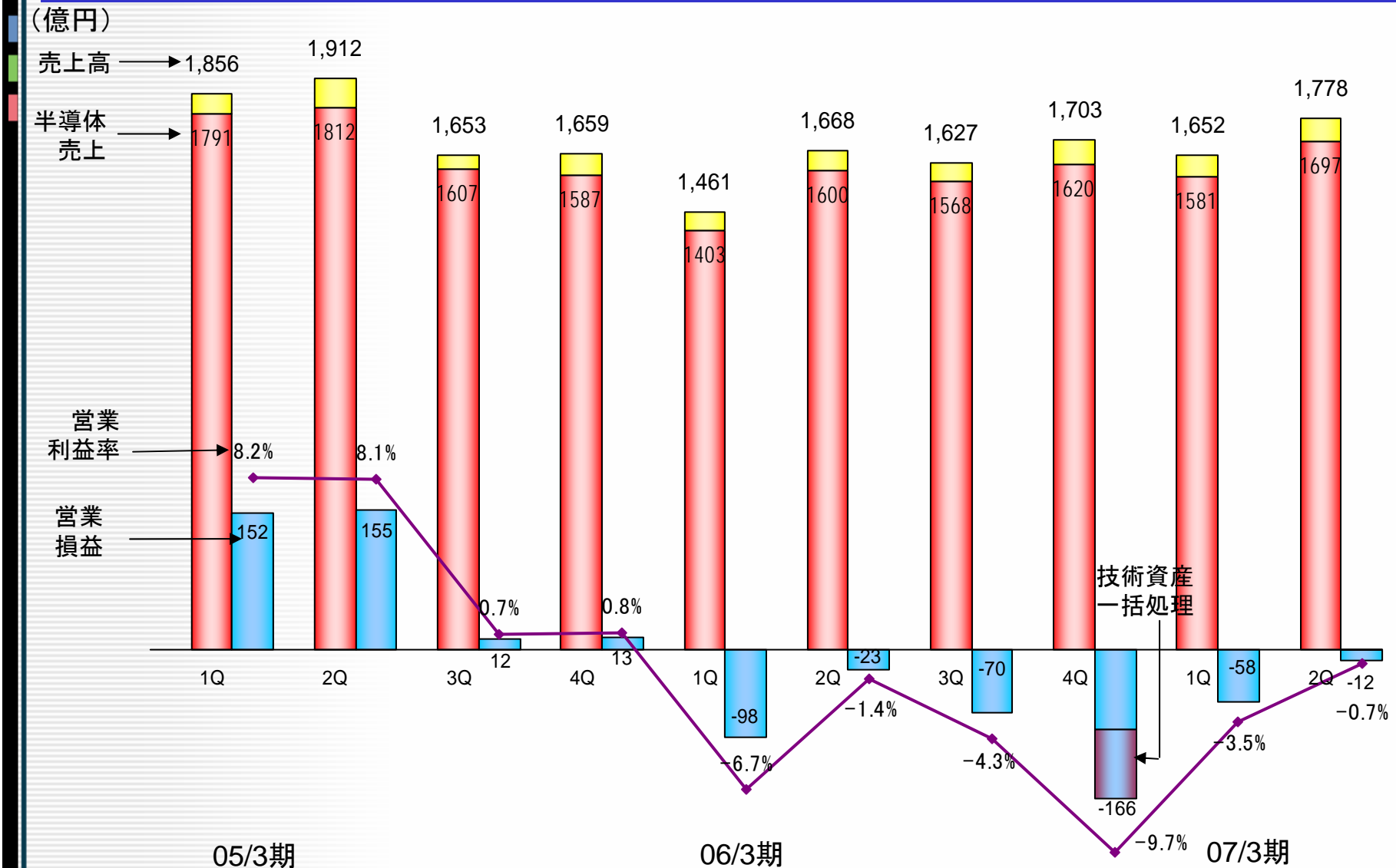
本資料に記載されている当社および連結子会社(以下NECエレクトロニクスと総称します。)の計画、戦略および業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因により、これら見通し等とは大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、NECエレクトロニクスの事業領域を取り巻く日本、北米、アジア、欧州等の経済情勢、市場におけるNECエレクトロニクスの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場においてNECエレクトロニクスが引続き顧客に受け入れられる製品、サービスを供給し続けていくことができる能力、為替レート(特に米ドルと円との為替レート)などがありますが、これら以外にもさまざまな要因があります。また、IT不況や通信不況に伴う世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が当初の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

I . 2007年3月期 上半期 業績概要

II . 2007年3月期 業績の見通し

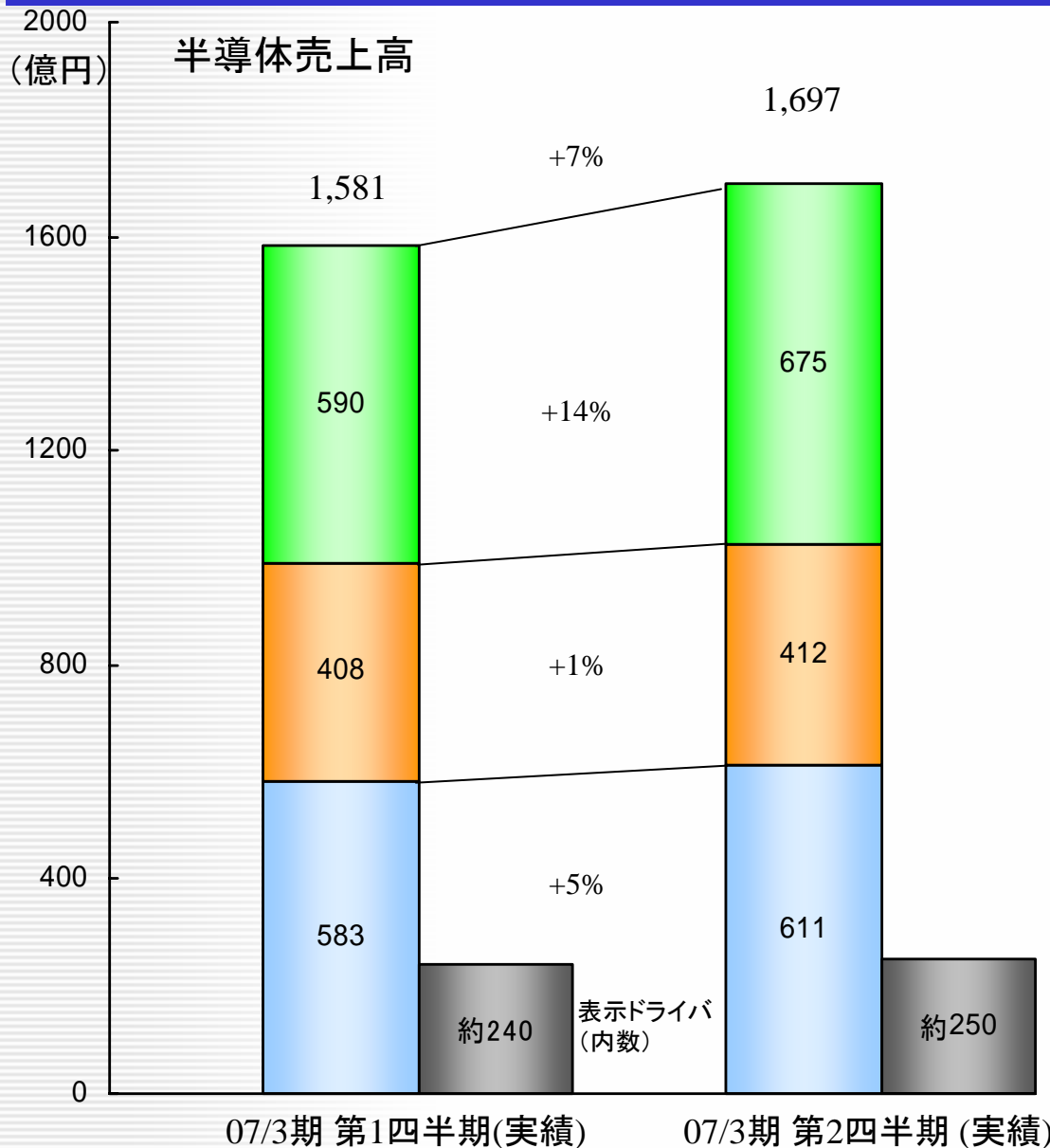
III . 業績改善基本方針の進捗状況

四半期別業績推移



注: 当社は米国会計基準を採用しておりますが、「営業損益」は売上高から売上原価、研究開発費、販売費および一般管理費を差し引いたものです。

第2四半期半導体売上高 (製品別 前期比較)



SoCプラットフォーム

- + 新規ゲーム機器向け出荷開始
- + プリンタ・DVDドライブ向けの季節増
- 国内携帯電話向の在庫調整継続によるデジタルベースバンドLSI等の出荷減

MCUプラットフォーム

- + 自動車・汎用ともほぼ横這い

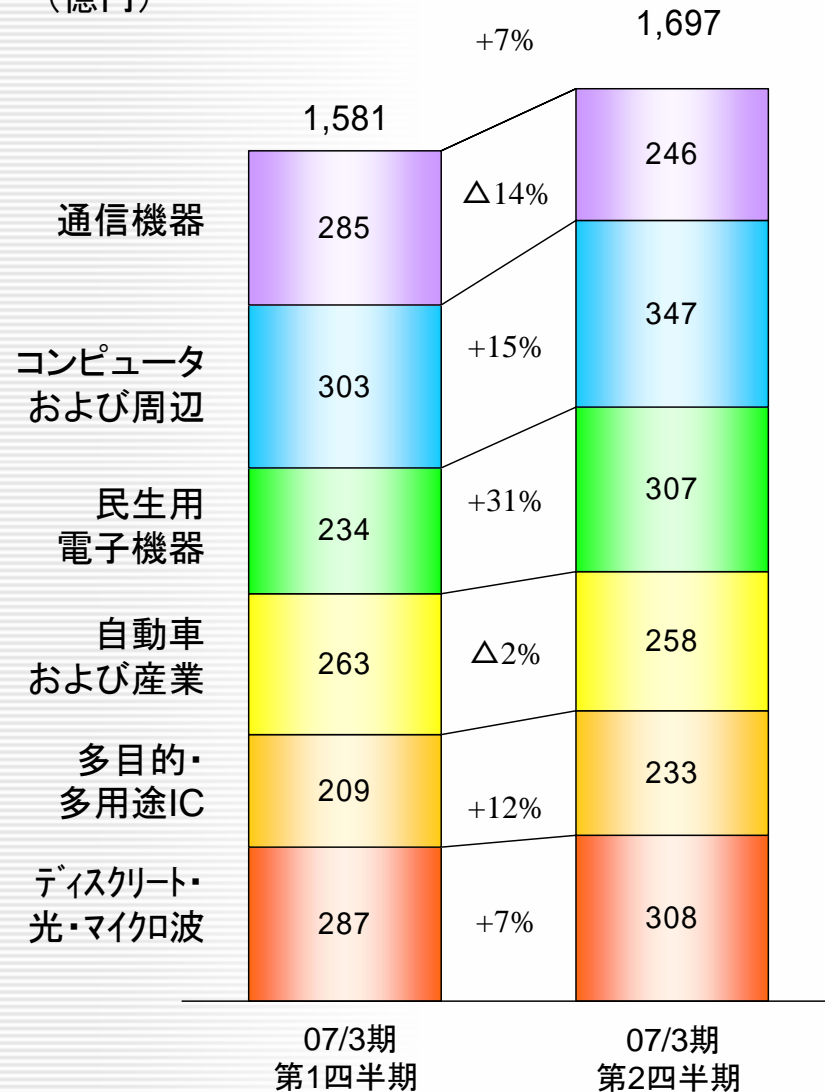
個別半導体

- + ディスクリット・化合物とも増収
- + 表示ドライバは小型が牽引

第2四半期半導体売上高 (分野別 前期比較)

半導体売上

(億円)

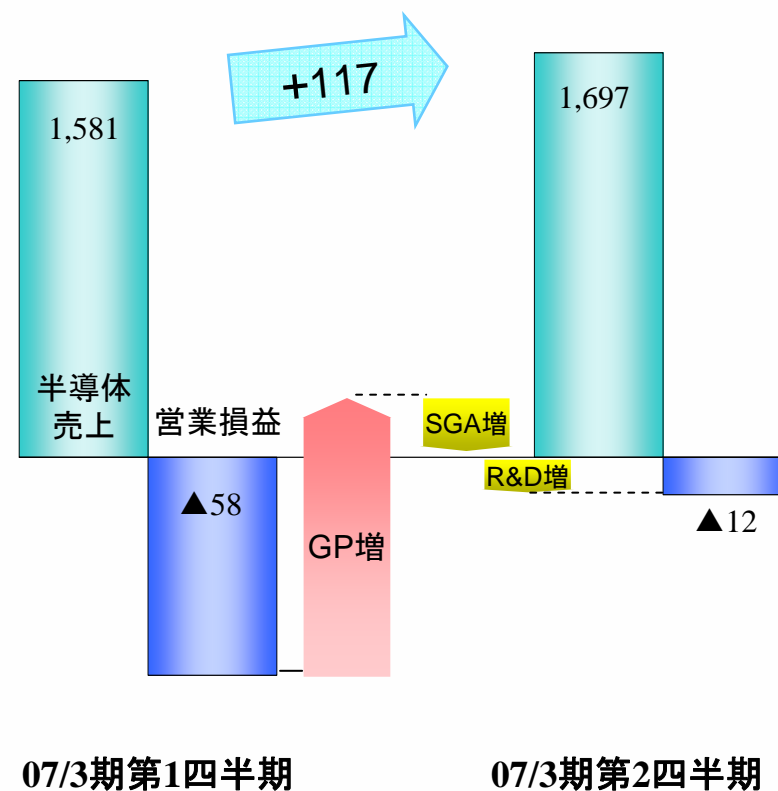


- 国内携帯電話端末向けDBB売上減
- 小型LCDドライバはシェア増による売上増
- DVDドライブの売上増
- 大型LCDドライバは横這い
- 新規ゲーム機器向けの出荷開始
- デジタルAV機器向け出荷増
- 自動車は横這い
- オールフラッシュマイコン等の売上増
- ディスクリート・化合物とも増収

2Q/1Q営業損益比較

単位:億円	第1四半期	第2四半期		
	実績 (売上高比)	実績 (売上高比)	前期比	前年 同期比
売上高	1,652	1,778	+125	+109
半導体売上	1,581	1,697	+117	+97
原価	1,189 (72.0%)	1,247 (70.2%)	+58	+34
粗利益	463 (28.0%)	531 (29.8%)	+68	+76
研究開発費	310 (18.7%)	319 (17.9%)	+9	+50
販管費	211 (12.8%)	223 (12.6%)	+13	+14
営業損益	△58 (△3.5%)	△12 (△0.7%)	+46	+12

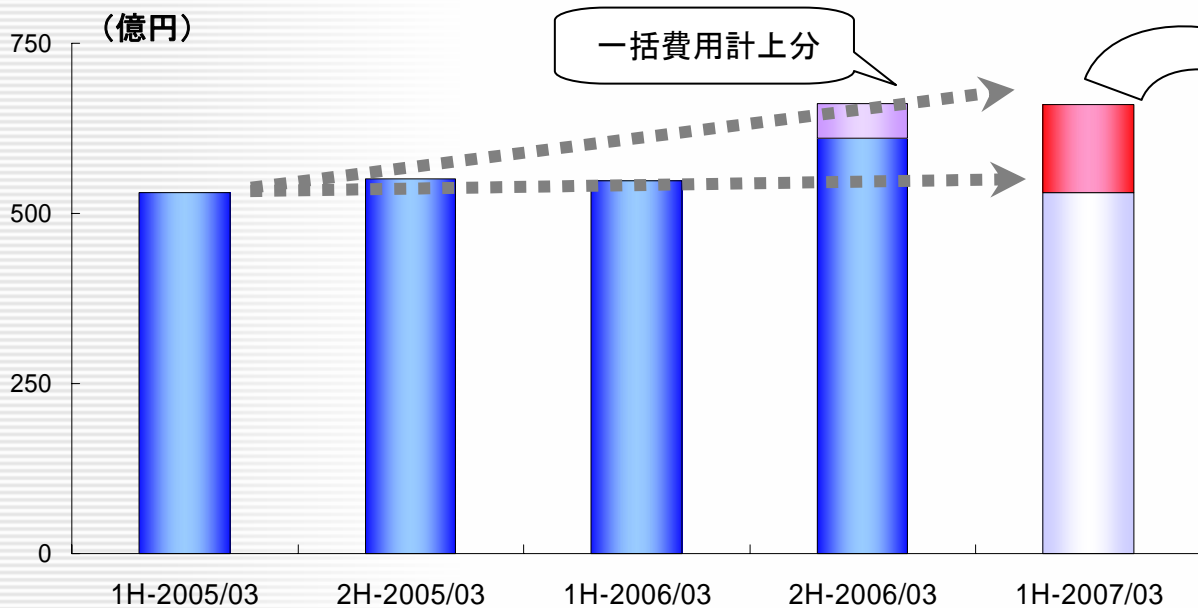
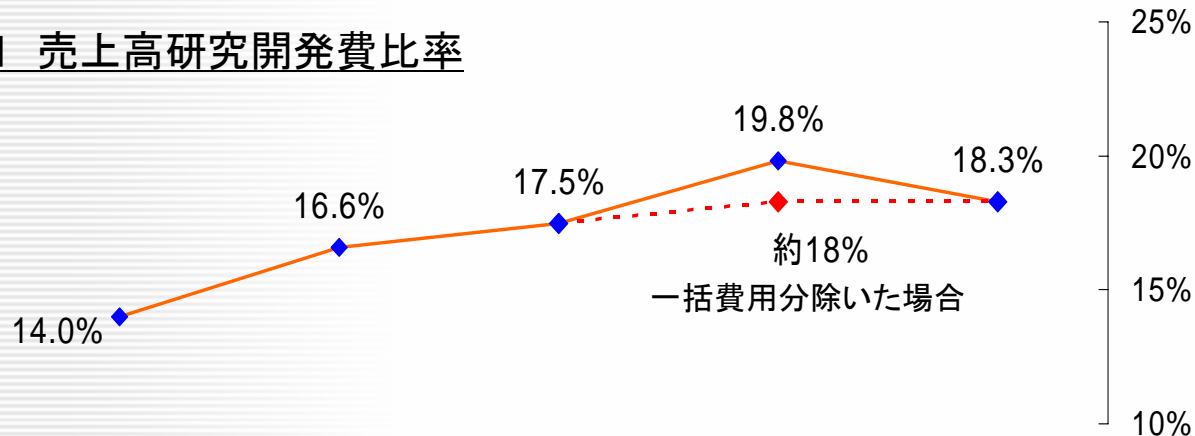
CF償却費+リース料	268	281	+13	△14
------------	-----	-----	-----	-----



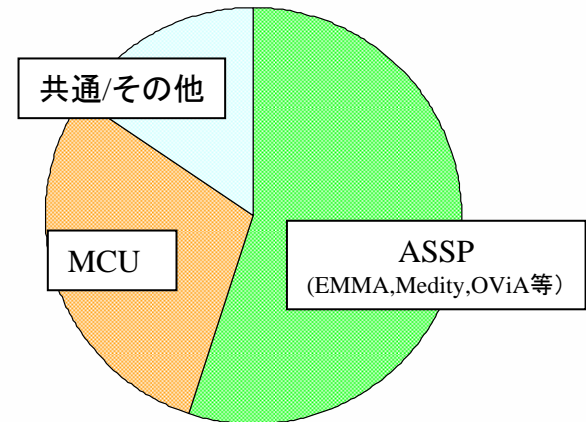
研究開発費の推移(過去5半期分)

注力分野に研究開発費を集中的に投入

■ 売上高研究開発費比率



研究開発費増分の内訳イメージ



バランス・シート

(単位: 億円)		05/9	06/6	06/9
現金および現金同等物		2,017	2,048	2,220
受取手形および売掛金		1,133	1,065	1,167
たな卸資産		722	761	831
有形固定資産		3,247	3,095	3,059
その他の資産		880	456	494
総資産		7,997	7,426	7,770
支払手形および買掛金		1,175	1,375	1,692
社債および借入金		1,519	1,466	1,460
その他の負債		1,382	1,551	1,595
負債		4,077	4,393	4,748
株主資本		3,881	2,992	2,980
D/Eレシオ (グロス)		0.39倍	0.49倍	0.49倍
株主資本比率		49%	40%	38%

フリーキャッシュフローは黒字確保

(単位:億円)	06/3期	07/3期		
	中間	1Q	2Q	中間
営業活動により増加した キャッシュ・フロー	147	78	268	346
投資活動により減少した キャッシュ・フロー	△342	△124	△87	△211
フリー・キャッシュ・フロー	△195	△46	181	134

I. 2007年3月期 第2四半期 業績概要

II. 2007年3月期 業績の見通し

III. 業績改善基本方針の進捗状況

今年度の業績見通しサマリ

(単位:億円)	06/3期	07/3期								
	年間	上期			下期			年間		
	実績	期初予想 06年4月25日 時点	実績	差異	期初予想 06年4月25日 時点	今回予想	差異	期初予想 06年4月25日 時点	今回予想	差異
売上高	6,460	3,450	3,430	△19	3,600	約3,500	△約100	7,050	6,950	△100
半導体売上	6,191	3,300	3,278	△22	3,500	約3,400	△約100	6,800	6,678	△122
営業損益	△357	△50	△69	△19	100	0	△約100	50	△70	△120
税前損益	△424	△70	△56	+14	70	△約134	△約200	0	△190	△190
当期純損益	△982	△90	△74	+16	40	△約176	△約220	△50	△250	△200

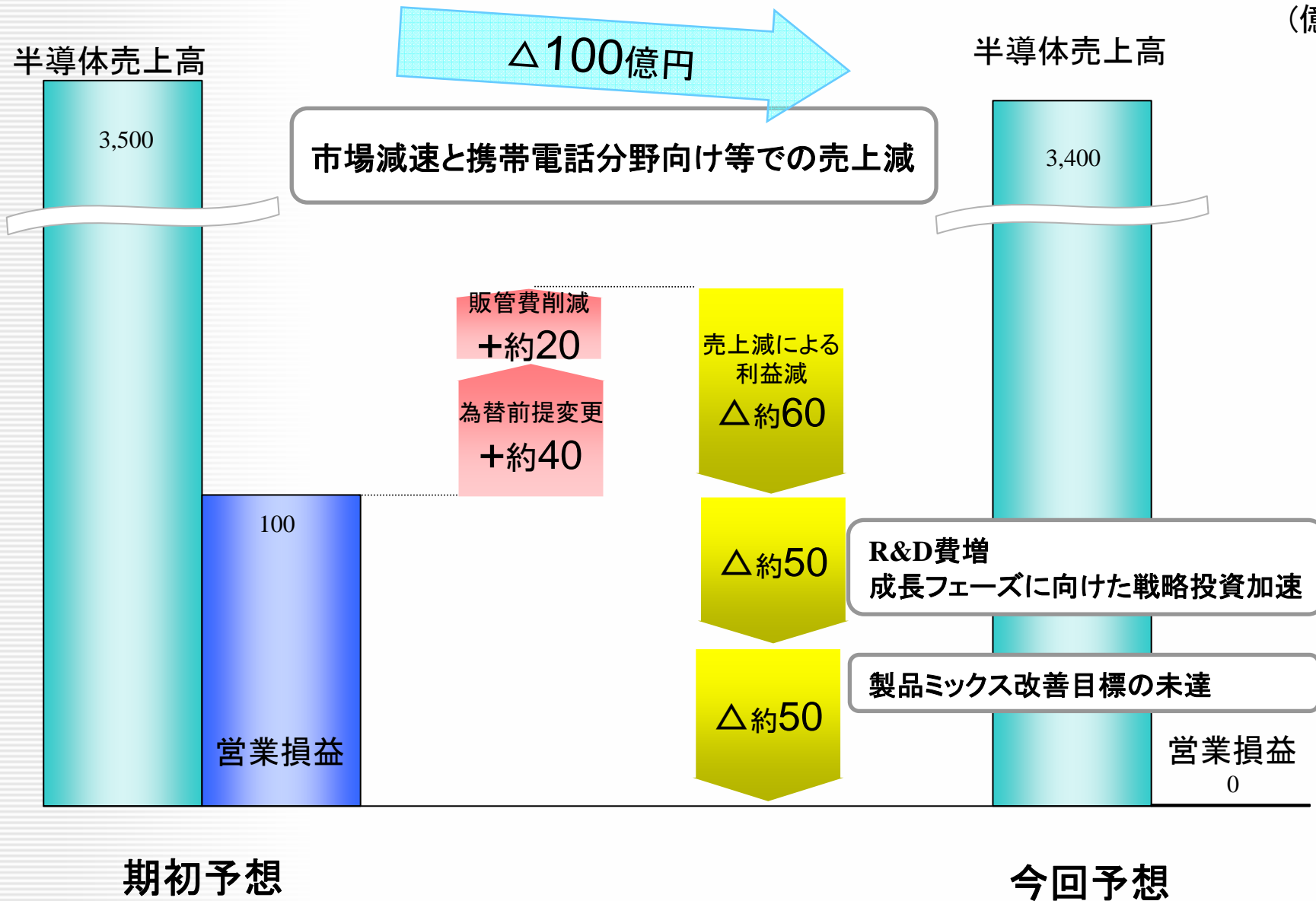
為替レート

1US\$=	112円	115円	115円	-	110円	115円	-	113円	115円	-
1Euro=	138円	140円	145円	-	135円	145円	-	137円	145円	-

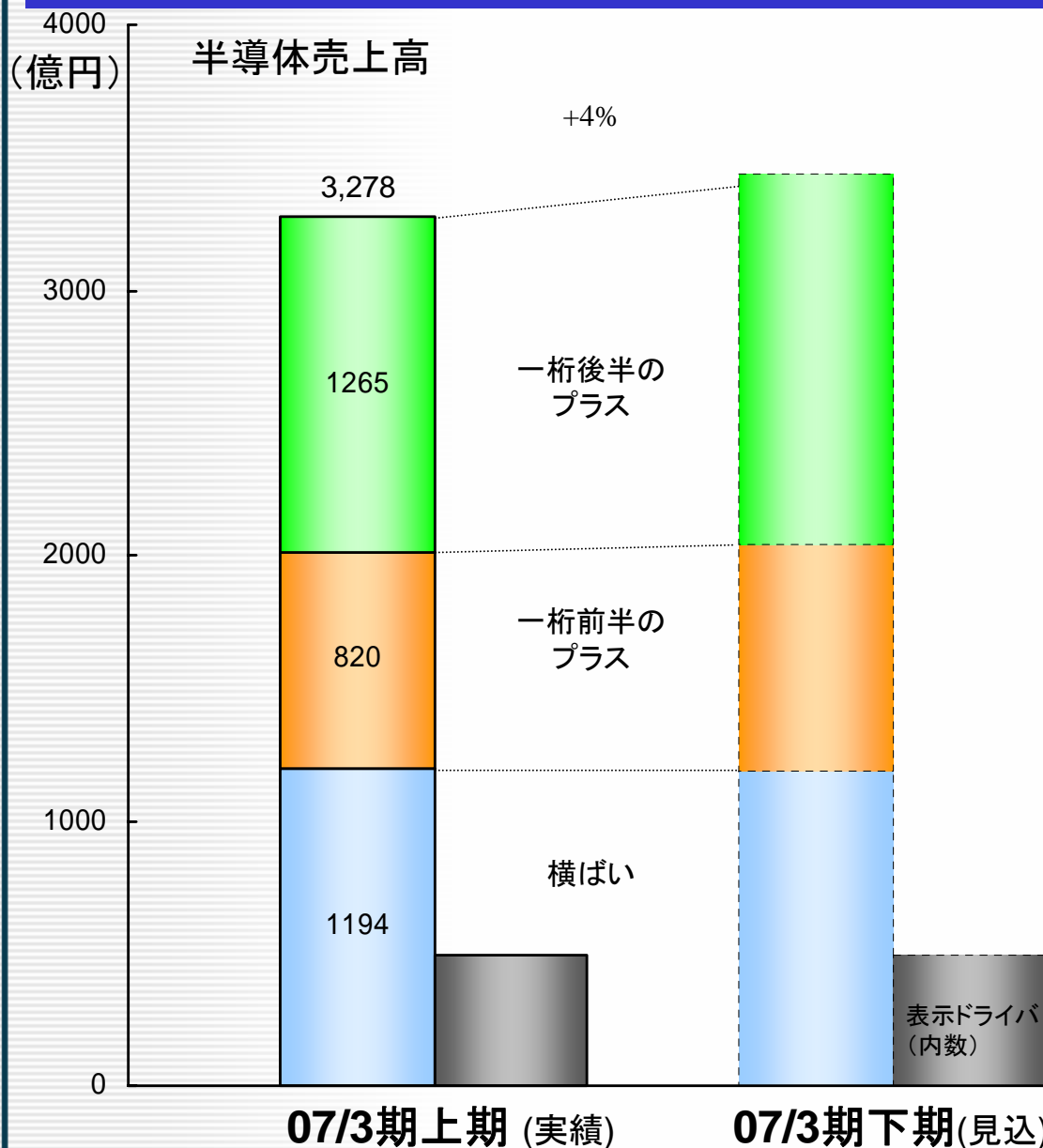
注1:当社は米国会計基準を採用しておりますが、「営業損益」は売上高から売上原価、研究開発費、販売費および一般管理費を差し引いたものです
 注2:予想値は2006年10月25日現在

下期営業損益の期初予想との差異要因

(億円)



半導体売上見込み (上期/下期比較)



SoCプラットフォーム

- +) ゲーム機器向け本格出荷
- +) 国内携帯電話の調整一巡によるDBB等出荷増
-) デジタルカメラ向けLSI出荷減

MCUプラットフォーム

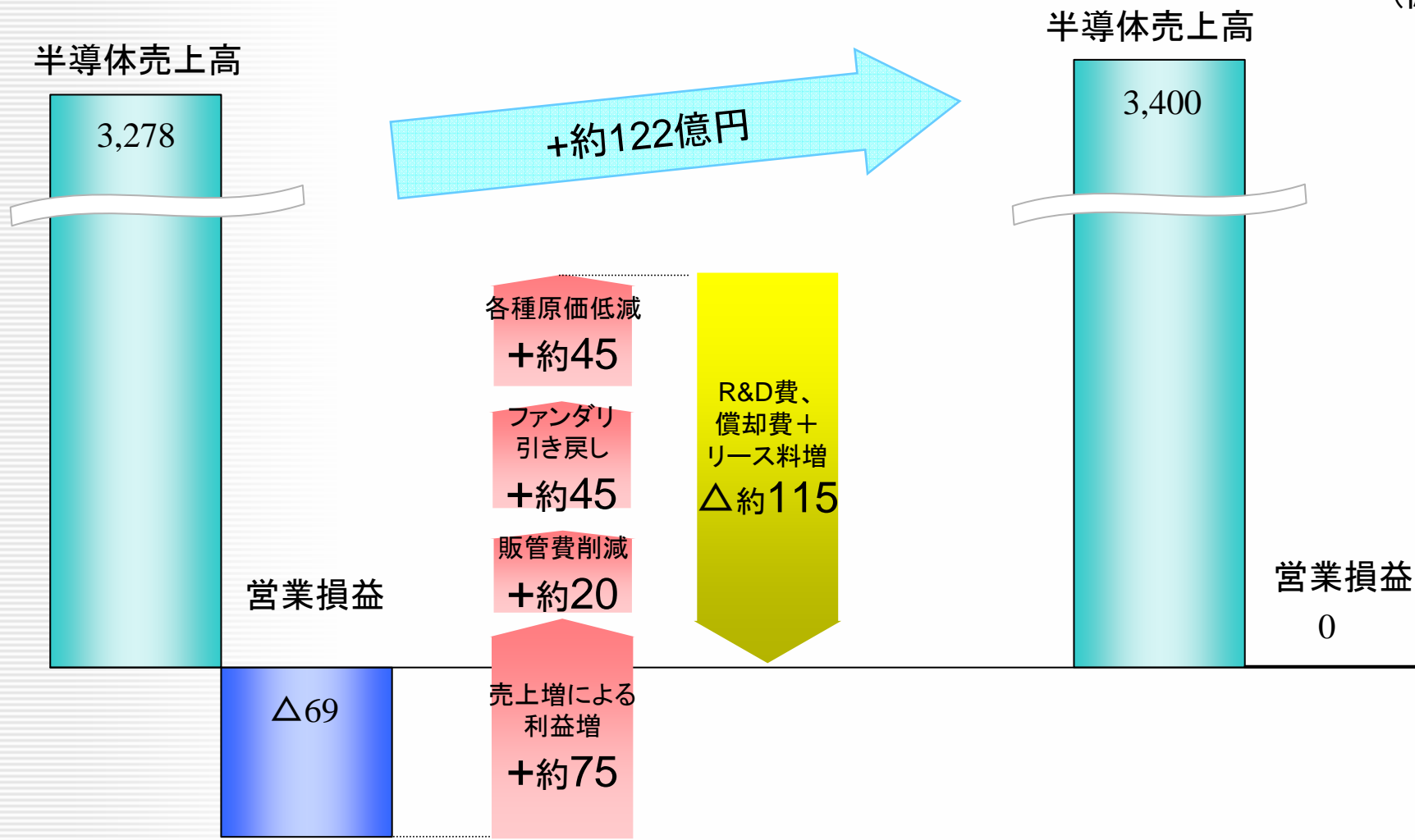
- +) 自動車は堅調に推移
-) 汎用は調整の見込み

個別半導体

- +) 大型ドライバは足元急回復で、年明け後も回復基調継続
-) 小型ドライバは下期一杯調整
- +) ディスクリート減速ながら成長

営業損益変動要因（上期/下期比較）

(億円)



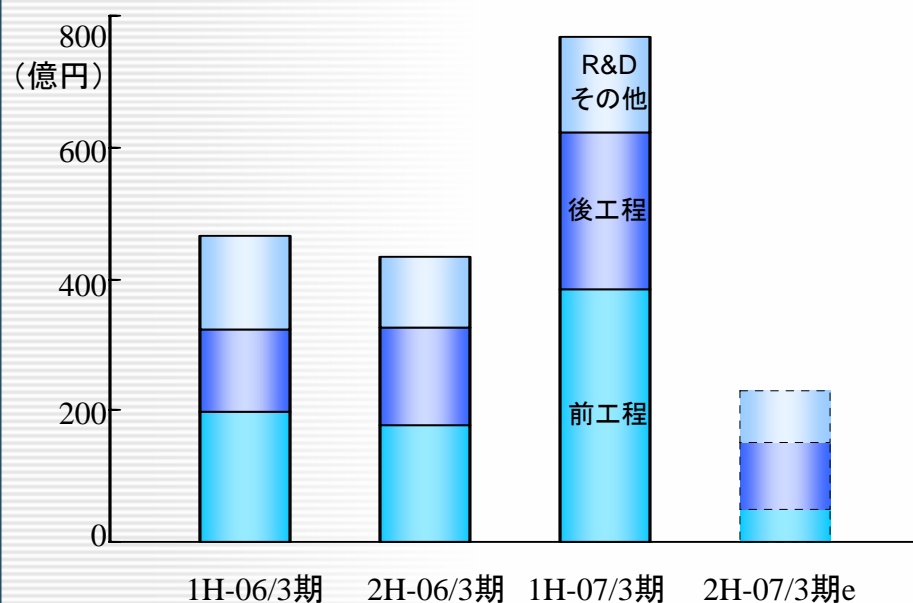
07/3期**上期**(実績)

07/3期**下期**(計画)

設備投資と償却費・リース料推移

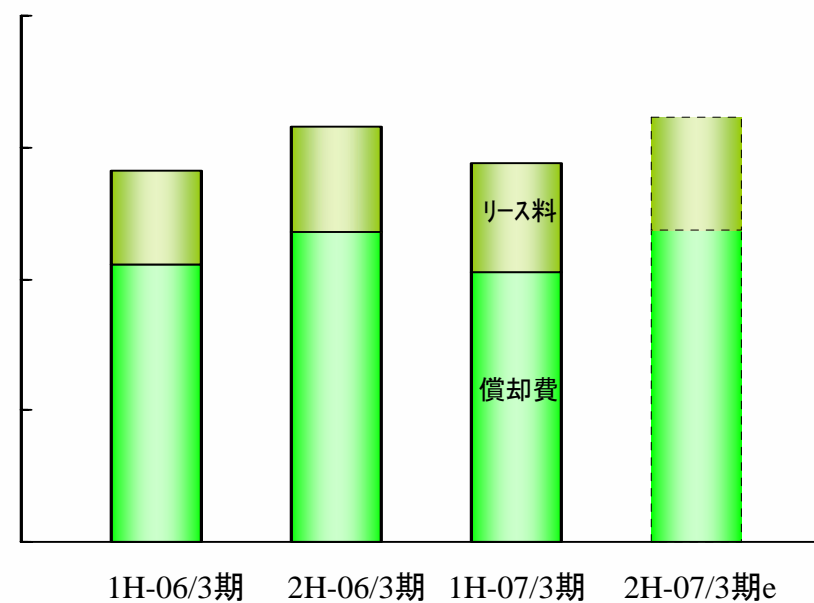
設備投資は上期集中で実施済み 費用は下期に増加

■ 設備投資額



(有形のみ、納入ベース)

■ 償却費+リース料



(償却費はキャッシュフローベース)

I . 2007年3月期 第1四半期 業績概要

II . 2007年3月期 業績の見通し

III . 業績改善基本方針の進捗状況

業績改善に向けた基本方針

STEP1

受注・売上の拡大

STEP2

生産能力増強と稼働向上による原価率改善

STEP3

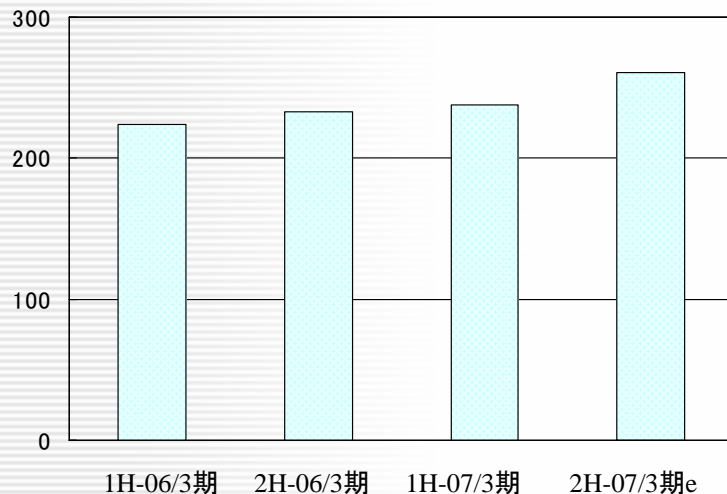
強い製品による利益率改善

STEP2

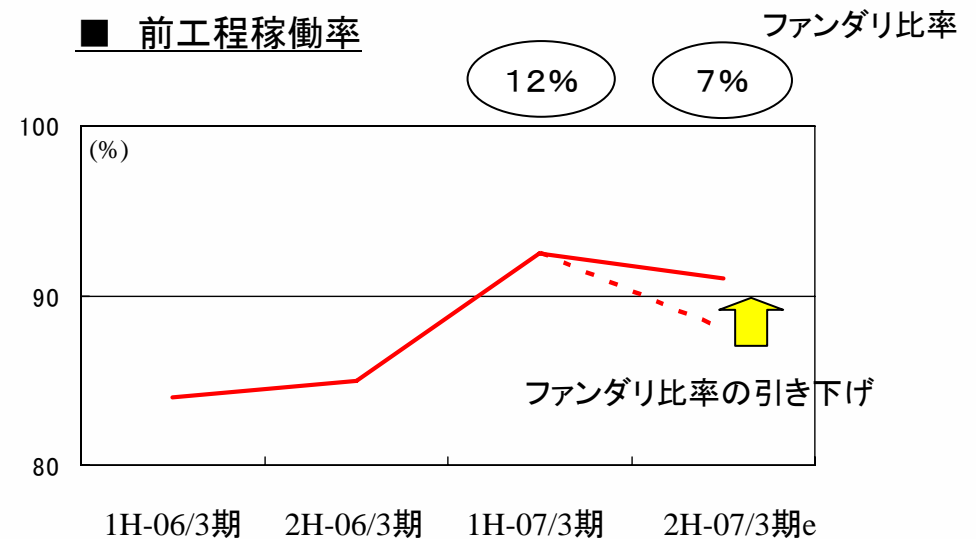
生産能力増強と稼働向上による原価率改善

- ✓ 山形300mmライン投資や生産革新活動により、下期は上期比で1割能力増の見込みだが能力増に見合う受注が不足
- ✓ ファンダリからの引き戻し計画実行により自前稼働率を維持

■ ウェハ生産能力 (8Φ換算 K枚/月 期中平均ベース)



■ 前工程稼働率



STEP3

強い製品による利益率改善

ASSPシフト・マイコン拡販が着実に進展しているが、業績改善を牽引するには未だ至らず

■ デジタルAVプラットフォームEMMA



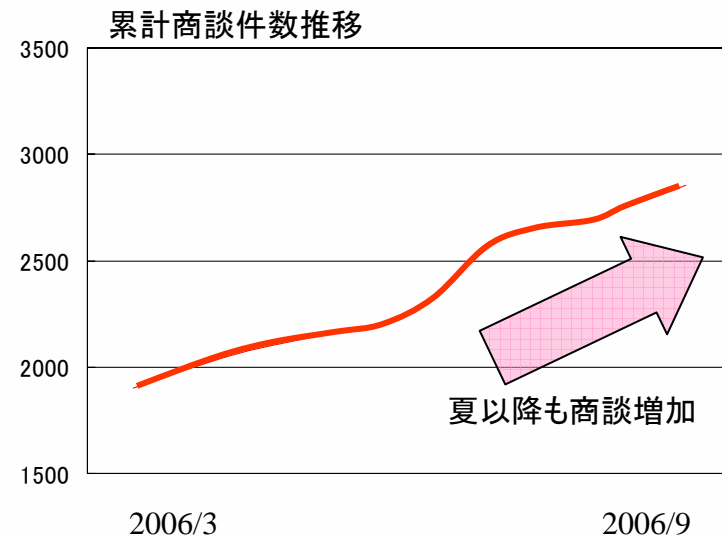
下期:累計デザインイン50社



■ オールフラッシュマイコン



下期:商談件数3,000件



STEP1・STEP2を継続強化しながらSTEP3を推進

STEP1

受注・売上の拡大

STEP2

生産能力増強と稼働向上による原価率改善

STEP3

強い製品による利益率改善

NEC
NEC Electronics Corporation